

卒業して半世紀以上に

学芸 昭和 37 年卒 笠井 美恵子

香大を卒業し、古高松小学校教諭を振り出しに、38 年間子どもたちと関わることができたことはとても幸せでした。途中で先生を辞めたいと思ったこともなく、毎日子ども大好きで、寝言にまで子どもの事が出ていたと家族に言われるくらいでしたが、授業がうまくできなくて悩んだことはいつもだったように思います。子どもたちにすまない・ごめんなさいの気持ちばかり。研究授業があたると、嬉しくもあり怖くもありました。担任する子どもたちは違うのに学級経営は画一的手はないかと悩んでは教育センターの研修を受けました。水泳も達者ではないので、これでは子どもたちの命を救うこともできないと、講習を何度も受けました。今でこそ、自分の負の部分さらけ出せるけど、当時は若かったこともあり、精一杯行動でカバーして見せていましたね。小豆島吉野の浜で、大学 1 年のとき受けた水泳演習の思い出と校長新採がこの三都小学校でした。青春時代を思い出しながら通勤していました。あっという間の 38 年間。教職をやり遂げたと自己満足しています。

今年、退職して 14 年。人権擁護委員を拝命し、現在、香川県人権擁護委員連合会事務局局長を務めていますが、自主的な事務管理や企画運営を目指して努力しています。香川県下には約 185 名の委員がいますが、皆が委員活動が出来るように連携が必要です。法務局（人権擁護部職員）とともに、職務とする人権相談活動・人権侵害の被害者救済・人権啓発活動を推進しています。今年、中学生への人権教室を目標にしていますが、委員皆が教壇に立ったことがないだけに大変です。授業のプロとは違う、地域の人権擁護委員のおじさんおばさんの訴える人権の話や重みは有意義なものです。人の命の大切さ、相手の気持ちを思いやる心を育てることに携わっていることにも、良かったなあと感じています。

香川大学を遠くに感じていた数年前に、卒業後初めて総会に出ました。様変わりした大学の校舎に感無量でした。疎遠になった人生を悔いても仕方ないと前向きに頑張ります。人生を 24 時間、90 歳とすれば、現在 74 歳の私は午後 8 時に位置します。すっかり暗くなってしまいました。